

一般環境経路による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

205百万円(94百万円)

環境保健部企画課石綿健康被害対策室

1. 事業の概要

石綿取扱い施設周辺などで一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった代表的な地域において平成18年度から実施してきた、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態調査を拡充する。

調査対象者を大幅に増加するとともに、毎年の検査(問診、胸部エックス線検査、胸部CT検査等)とフォローアップを充実することにより、従来の分析に加え、有所見群と無所見群の2群を設定して、石綿関連所見の変化や石綿関連疾患の発生状況等の比較を行う。

2. 事業計画

調査対象地域それぞれにおいて、これまでの調査で得られた知見を活用して、平成22年度より対象者を大幅に増加させ、新たに有所見群と無所見群の2群を設定し、調査期間を5年間とした実態把握調査を開始する。

区 分	21	22	23	24	25	26
石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査 (3地域：大阪府泉南地域、尼崎市、鳥栖市) H18～	→					
(6地域：奈良県、羽島市、横浜市鶴見区) H19～	→					
(7地域：北九州市門司区) H21～	→					
石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査【改編】 (7地域：上記) H22～						→

3. 施策の効果

一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった代表的な地域において、有所見群と無所見群の石綿関連所見の変化や石綿関連疾患の発生状況をフォローアップすることにより、石綿ばく露者の中長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集する。

次期健康リスク調査のイメージ

対象者

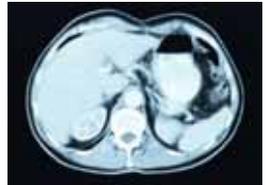
石綿取扱い施設周辺などで一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった代表的な地域の住民
(対象者数を大幅に増加)



対象集団設定

有所見群

無所見群



問診、胸部X線、
胸部CT、等

問診、胸部X線
最終年に胸部CT、等

5年
間程度
実施

・石綿関連所見や所見の変化を把握
・中皮腫、肺がん等に罹患した場合は把握
(毎年の調査実施結果を集計・公表する。)

定期的な検査等

2群の石綿関連所見の変化や石綿関連疾患の発生状況をフォローアップ



石綿ばく露者の中長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集